

地 域 再 生 計 画

- 1 地域再生計画の申請主体の名称
加世田市
- 2 地域再生計画の名称
人と自然の「往来」地域再生計画
- 3 地域再生の取組を進めようとする期間
認定を受けた日から概ね 10 年間
- 4 地域再生計画の意義及び目標

本市は、鹿児島県の南西部に位置し、東シナ海に面した北西部海浜地域は、日本三大砂丘の一つである吹上浜が広がり、ウミガメが産卵のため上陸している。万之瀬川河口付近は、日本在来種のハマグリの分布する南限地で、落葉低木ハマボウが千株以上群生しており、希少種の珍鳥クロツラヘラサギが越冬し、ハクセンシオマネキなどの希少なカニ類が大量に生息している。また、広大で緑豊かな自然、県立吹上浜海浜公園を中心とした長大なサイクリングロードやサンセットブリッジなど、豊かな自然と景観に恵まれている。

これらの自然や景観の特性を活かしながら、県立吹上浜海浜公園をはじめ、物産センター「るぴなす」、温泉施設「ゆうらく」、宿泊施設の「さんぱる」、多目的交流施設「かせだドーム」、サイクリングターミナル「りんりん」や自転車専用道路、平和祈念館、観光農園などが整備されている。これらの施設群や広大なスペースを中心に、年間を通じて各種イベント、スポーツ交流・試合、合宿・研修等が定期的に行われており、また家族や職場グループの語らいや交流、健康づくりの場としての活用も増えており、この地区では毎年県内外から 60 万人程度、最大で 87 万人程度の集客が確保されている。

特に、これまで 17 回開催されてきたサンドクラフト「吹上浜砂の祭典」は、砂の彫刻で作られた砂像群をメインテーマとした、県下でも代表的な総合型イベントとして定着化し、来訪者に多くの夢と感動を与えてきており、最近では多くのリピーターも確保されつつある。

今後も、観光客の誘引に努めるため、市内の豊かな自然をはじめ産業資源、イベント、スポーツ大会の開催など地域の特性を活かした観光交流基盤の整備を進める必要がある。

また、グリーン・ツーリズムなどの都市と農山漁村との交流を促進し、観光客のニーズに対応した魅力ある体験交流型の観光拠点としての整備やボランティア活動等を行う人材の育成に努めるとともに、効果的な広報宣

伝を図る必要がある。

このようなことから、サイクルシティ推進事業や吹上浜砂の祭典開催事業、スポーツ合宿誘致推進事業、砂丘地域再生振興特区推進事業等の充実に努め、本市が進める交流人口・半定住人口の拡大と新たな雇用確保を図り、本地区はもとより本市全体の活性化につなげるものである。

本市においては近年、県立吹上浜海浜公園内サッカー場などにおいて、県内の主要なサッカー大会が開催されるとともに、県内外のサッカー競技者の合宿等が行われ、本地区への入り込み者や宿泊者等が急増している。このことから、まちづくり交付金を活用した都市再生整備計画の推進により、利用者のニーズに応じたサッカー公園やスポーツ合宿等に対応した地域交流センターを整備し、各種スポーツ大会の開催や合宿等の誘致を促進することとしている。併せて、本市のオリジナル文化である砂の彫刻や自然環境の情報提供施設を整備し、観光客の誘引により、本市全体の活性化を図ることとしている。

さらに、本市は平成7年にサイクルシティを誓言し、自転車を活用したまちづくりを進めている。平成13年11月に、世界18の国と地域から280名の選手・役員等の参加を得て、市民総参加のもと開催した日本で初めての世界室内自転車競技選手権日本大会をはじめ、これまでに全日本サイクルサッカー・サイクルフィギュア選手権大会、バイコロジー全国大会、全九州サイクリング大会等を開催するとともに、市民を対象とした月例サイリング会や吹上浜自転車道を活用したイベントの実施などのソフト事業やレンタサイクル施設の整備や自転車や歩行者にやさしい道路整備(段差解消)などのハード事業にも取り組み、「健康で人と自然にやさしいオシャレなまちづくり」をコンセプトとして、各種の事業を展開している。また、市外の観光客を対象に、市内の観光スポットや名所・旧跡を巡回するサイクリングコースを設定しているが、観光客には分かりづらい状況にある。このことから、都市再生整備計画の推進により、サイクリングコースの調査検討を行うこととしている。

以上から、本市においては、今後も新たなまちづくり交付金の活用により、サイクリングコースや市道等の整備ほか、観光客の利便性を高めるためのサイクルスポット(駐輪場・休憩所・エコトイレ)、万之瀬川河口や砂丘地の特色ある自然と希少生物の保護に努めた親水公園や保護観察施設等の整備について検討を行うこととしている。

また、海浜部沿岸の広大な松林(国有林)の保護・活用を図るため、新たなまちづくり交付金の活用による保安林機能と健康増進機能を併せ持った施設等の整備について検討を行い、豊かな自然環境を活かした海浜地域交流ゾーンとしての機能の充実に努めることとしている。

一方、本市においては、現在「加世田市砂丘地域再生振興特区」計画に基づき、砂丘地農業を核とする産業の再構築と都市と農村の交流の促進による地域の活性化に取り組んでいる。これまで11社が参入しており、今

後、特区の円滑な推進と地域農業の振興を図るため、基盤整備事業等の導入を行うこととしている。

また、都市と農山漁村の共生・対流の情報を基に、豊かな自然環境を活かしたイベントの開催や新たな観光農園の開設等により、入り込み客のニーズに対応した事業の展開を図るなど関係施策の連携強化に努め、本市が進める交流人口・半定住人口の拡大により本地区の賑わいを創造することとしている。

さらに、魅力ある体験交流型の観光拠点を進めるため、ボランティア活動やNPO活動を行う人材の育成に努めるとともに、地域づくりの先進事例等の情報提供を基に、より一層の地域の活性化につなげていきたい。

今回の地域再生計画は、平成16年1月に策定した「人と自然の『往来』地域再生構想」に基づき、砂丘地域再生振興特区計画の推進に加え、新たに特区地区周辺の自然空間（森林・河川等）や公共・公用施設（公園・道路等）などの資源の更なる活用による交流人口・半定住人口の拡大と新たな雇用確保を図り、活力ある地域の創造に努めるものである。

5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

- (1) 吹上浜の砂丘など、広大な自然と海浜部の特性を活かした、野外スポーツ施設等の整備や特色ある観光施設等の整備と各種スポーツ大会やイベント等の開催による交流人口・半定住人口の拡大
- (2) 宿泊交流施設等の整備と学生・社会人スポーツ等のキャンプ・合宿等の誘致による関連産業の活性化
- (3) 食品関連産業（体験及び見せる工場）や研究開発型企业（産・学・官による実証ほ場）等の誘致による雇用機会の拡大
- (4) 農作業の体験や松林での散策、サイクリング等自然を利用した市民の健康増進機能の拡充

目標指数

	平成15年度	→	平成26年度
本地区への年間の入り込み者数	87万人	→	137万人
本地区内の年間の宿泊者数	2万3千人	→	3万人
地区内の雇用者数の増			40人

6 講じようとする支援措置の番号及び名称

- 支援措置番号 212016 「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実
- 支援措置番号 212028 まちづくり交付金の創設
- 支援措置番号 230004 都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化

7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業

(1) 構造改革特区により実施する取組

加世田市砂丘地域再生振興特区 H15.8.29 認定

特定事業番号：1001, 1002

- ・砂丘地域再生振興特区推進事業（遊休農地復元，砂丘農業専門指導員設置ほか）
- ・砂丘地景観整備事業
- ・岩崎針本地区整備事業（基盤整備）
- ・遊休農地解消総合整備事業

(2) その他関連事業

ア，サイクルツアー推進事業モデル地区 H16.2.4 指定(国土交通省)

- ・サイクルツアー推進計画の策定
- ・指定路線及び指定施設の整備
- ・自転車利用の促進

イ，都市再生整備計画(ガンバリーナかせだ地区) H16.6.18 交付通知

- ・サッカー公園整備（基幹事業）
- ・地域交流センター整備（基幹事業）
- ・道路整備（基幹事業）
- ・企業誘致条件整備（提案事業）
- ・駐車場整備（提案事業）
- ・サイクルツアーコース等の調査実験（提案事業）

ウ，サイクルシティ推進事業(サイクルシティかせだ推進協議会)

子どもから高齢者まで，障害者も含めて誰もが自転車に乗る喜びや楽しさを実感できるような自転車関連の事業やイベントを実施することにより，自転車に対する多くの人々の関心と共感を呼び起こすとともに，自転車の普及と利用促進を図る。

主な事業

- ・室内自転車競技ドイツジュニアチームの招聘
- ・サイクルイベントの支援(ツール・ド・かせだ ,マウンテンバイク大会)
- ・さわやか一輪車大会の開催
- ・自転車による健康づくり教室
- ・身障者ふれあい自転車体験会
- ・サイクリング大会の開催
- ・ディアスロン IN かせだの開催
- ・スポーツ活動等の支援
- ・アドバイザー招聘
- ・自転車購入
- ・普及啓発活動など

エ，吹上浜砂の祭典開催事業(吹上浜砂の祭典実行委員会)

- ・吹上浜砂の祭典の開催
- ・各地で行われる砂像の彫刻の制作及び指導

オ，スポーツ合宿誘致推進事業(加世田市)

- ・パンフレットの作成
- ・スポーツ合宿誘致の P R

- 8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が認める事項
特になし

別紙

1 支援措置の番号及び名称

(1) 支援措置番号 212016

(2) 名 称 「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実

2 当該支援措置を受けようとする者

加世田市

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

本市では、豊かな自然を活かしたイベントや観光農園などの都市と農山漁村の共生・対流による体験交流型観光事業を進めており、本計画でも人と自然の往来を謳っているところである。

魅力的な観光地づくりを進めて行くうえで、訪れた人に喜んでいただき再び訪れたくなるような観光事業を行うことが必要である。このためには、人材の育成は欠かせないところであり、住んでいる人が地域の魅力を感じ、地域を愛し訪れた人と共に楽しむことにより、地域の振興や活性化につながる。

そのため、平成16年度において、国の支援措置である「観光カリスマ塾」への参加により人材育成に努めるとともに、国から提供される各地のボランティアガイドのサービス内容や先進的なNPO活動、地域づくりの先進事例等の情報提供を基に地域づくりに努め、本市が進める交流・半定住人口の拡大につなげていきたい。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

- (1) 支援措置番号 2 1 2 0 2 8
- (2) 名 称 まちづくり交付金の創設

2 当該支援措置を受けようとする者

加世田市

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

当地区における交流人口・半定住人口の拡大と新たな雇用の創出を図るため、まちづくり交付金の活用により本計画区域内の整備を図り、より一層の地域振興につなげる。

県立吹上浜海浜公園内のサッカー場は、芝目の良いグラウンドとして県内外の利用者から好評を得ており、県内の主要なサッカー大会や県内外のサッカー競技者の合宿等が行われ、本地区への入り込み者数や宿泊者等が急増している。このことから、平成 16 年 6 月に採択された都市再生整備計画「ガンバリーナかせだ地区」においては、利用者のニーズに応じたサッカー公園を整備するとともに、スポーツ合宿等に対応した宿泊施設や砂の彫刻の常設展示館、自然環境の情報提供施設を地域交流センターとして一体的に整備する。

また、サイクリング利用者やサッカー場利用者の安全性やイベント時(砂の祭典等)の渋滞緩和を図るため、歩行者や自転車にやさしい道路整備や駐車場整備を行い、海浜地域交流ゾーンの機能の充実に努め、観光客及び利用者の満足度を高め利便性の向上を図る。

しかしながら、現在の計画は、平成 19 年度までの計画であり、この地域の振興を図るためには、今後もまちづくり交付金の活用による事業の検討を行う必要がある。

このことから、新たなサイクリングコースや市道等の整備ほか、観光客の利便性を高めるためのサイクルスポット(駐輪場・休憩所・エコトイレ)、万之瀬川河口や砂丘地の特色ある自然と希少生物の保護に努めた親水公園や保護観察施設等の整備について検討を行う。

また、本地区は海浜部沿岸に広大な松林(国有林)を有しており、この国有林の保護活用を図るため、マウンテンバイクコースやクロスカンントリーコース、松林散策道など保安林機能と健康増進機能を併せ持った施設の整備の検討を行い、豊かな自然環境を活かした海浜地域交流ゾーンとしての機能の充実ににより、観光客及び利用者の満足度を高め利便性の向上を図るものである。

このような事業展開を図りながら、本地域の活性化を進め、交流人口・半定住人口の拡大や雇用の創出につなげる。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

(1) 支援措置番号 230004

(2) 名 称 都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化

2 当該支援措置を受けようとする者

加世田市

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

本地区は、「加世田市砂丘地域再生振興特区」計画に基づき、株式会社等の農業参入による砂丘地農業を核とする産業の再構築と市民農園の開設などに取り組んでいる。

また、本市の特産品である砂丘ラッキョウのオーナー制による観光農園やぶどうのもぎ取り農園など、初心者の方でも気軽に参加できる交流を主体とした観光農園が整備され、鹿児島市を中心とした都市と農村（地元）との交流を通じて、年々オーナーになる利用者や来園者が増えている。観光農園の区画数も当初 88 区画であったが、平成 15 年には 178 区画まで拡充されている。

このことから、当該支援措置により、今後も観光農園の拡大や新たな作物の観光農園の開設を図るなど、本市を訪ずれる人々のニーズにあった対応に努めるとともに、本市を代表するイベントである吹上浜砂の祭典や自転車を活用したイベントの開催、サッカー大会や駅伝大会などのスポーツ大会の開催など、都市と農山漁村の共生・対流に関する取りまとめた情報を活用し、より魅力ある観光・交流ゾーン「ガンバリーナかせだ」¹の創出に努め、交流人口・半定住人口の拡大につなげるものである。

1 「ガンバリーナかせだ」の定義

すべての人が美しい自然の中で、健康で明るく頑張ってもらいたいとの思いと、吹上浜の海「マリーナ」とを組み合わせ、平成 12 年 4 月に命名された県立吹上浜海浜公園一帯の施設やエリアの総称